

赤潮プランクトン情報（第 1 2 報）

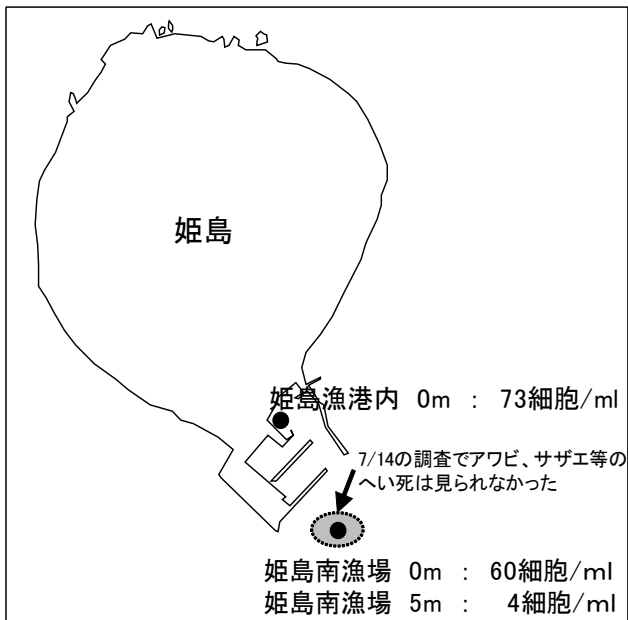
福岡県水産海洋技術センター

平成 2 7 年 7 月 1 5 日

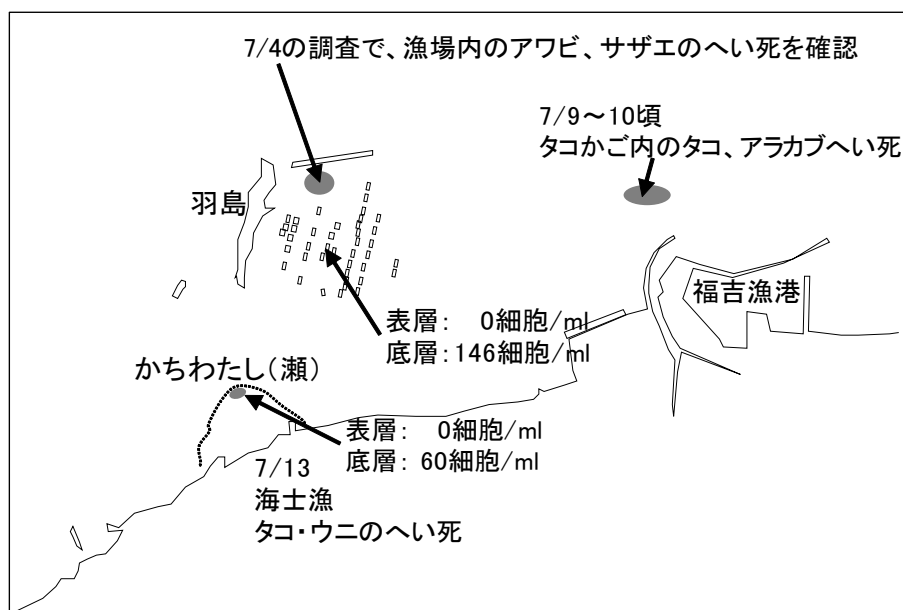
平成27年7月14日に福吉地先と姫島地先の漁場と海水を調査したところ、魚介類に有害なプランクトン（カレニア ミキモトイ）と、アワビやサザエ、タコのへい死が下図のように確認されました。

カレニア ミキモトイは今後も漁場の中底層で高密度に増殖する可能性があることから、養殖魚や畜養中の魚介類の管理には十分注意するとともに、漁場のアワビ類やタコなどの活力などにも注意を払うように努めて下さい。

*カレニア・ミキモトイは魚介類に有害で、500細胞/mlを越えると要注意、数千個体で魚介類がへい死します。



赤潮の発生や魚介類の異常が認められた場合には、アワビ類などの早期出荷や、漁港での魚介類の蓄養中止などの対応が必要です。



海水1mlあたりのカレニア・ミキモトイの細胞数と被害状況

赤潮により漁場でアワビが弱ったり、漁場の海水が着色していた場合などは当センターへ至急連絡願います。

連絡先 福岡県水産海洋技術センター
研究部 資源環境課 秋本・恵崎・杉野
092-806-0884